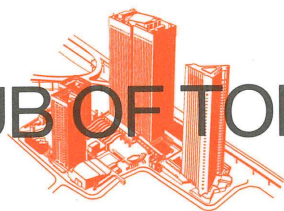




NO. 775
2003年5月30日

THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Sow the Seeds of Love

「ロータリー：慈愛の種を播きましょう」

「ロータリーで喜びを！ー参加しよう、友達になろう、クラブライフを楽しもうー」

2002～2003年度・国際ロータリーテーマ/ビチャイ・ラタクル会長

2002～2003年度・東京新南ロータリークラブテーマ/吉田用親会長

【本日の例会】5月30日 第794回例会

◎卓話

「虚々実々のシャーロックホームズの世界」

東京ロータリークラブ会員
多摩大学 教授 河村 幹夫氏
(紹介者 佐々木会員)

【先週報告】5月23日 第793回例会

◎卓話 「外資系ホテル・日本進出の戦略」

株式会社オータパブリケーションズ
代表取締役社長 太田 進氏
(紹介者 吉田武会員)



◎会長報告

①松崎ガバナーより、
谷村義雄会員への
傘寿お祝品をお渡し
致しました。



②本日来会の米山奨学生・李祥範さんをご
紹介致します。当クラブでは2004年3
月まで李さんのお世話をする事になり
ました。よろしく願いいたします。
李さんのカウンセラーには土屋会員にお
願い致しました。



◎慶事披露 誕生日祝/四分一 勝君(5月30日)

◎出席報告

会員66名/出席43名・欠席23名(出席規定免除者10名)
ビジター4名、ゲスト3名、米山奨学生・李祥範君

【次週予告】6月6日 第795回例会

◎卓話 「食品の安全規準システム」

アメリカ大使館 農務官
Mr. KEVIN LATNER
(紹介者 清原会員)



5月23日/12件 33,000円
2002～2003年度累計 1,338,643円
多額の御寄付を有難うございました。

吉田武/塚田さんニコニコごくろう様です。また今日の卓話太田さん楽しみにしております。谷村義雄/地区ガバナーから傘寿のお祝いを頂き有難う存じます。四分一勝/誕生日祝いありがとうございます。吉田用親/先日、人間ドックの定期検診が終了しました。ほぼ問題なしで一安心。塚田さんニコニコご苦労様。渡部一元/3年前の今日5月23日、元会長佐藤定宏さんが亡くなりました。お人柄が懐かしく偲ばれます。西澤民夫/塚田さん、ニコニコ委員頑張って下さい。尾上寛/今週のゴルフベストスコアが出ました。ちなみに58、51。武下朗/塚田さんニコニコごくろう様です。お顔もニコニコピッタリですよ。石井謙次/塚田さんニコニコごくろう様です。荻野道雄/ご無沙汰しております。竹内光晴/高1になった長男が「髪を染めたい」と言ってきました。「ほどほどに」と答えましたが。塚田哲夫/初めてのニコニコ担当です。うまくお役目勤めができれば良いのですが。

第4回国際囲碁大会参加

5月17日(土)と18日(日)の2日間、東京市ケ谷の日本棋院で、ロータリー囲碁同好会(GPFR, Go Playing Fellowship of Rotarians)が主催、東京RCがホストになって、第4回国際囲碁大会が行われました。新型肺炎の影響で台湾は参加できませんでしたが、韓国から10数名、日本全国から70数名が参加して、熱戦が行なわれました。1日目に2試合、2日目午前に3試合を行ない、16名が選抜されて、2日目午後の決勝トーナメントに進み優勝を競いました。当クラブの囲碁同好会からは、加藤昌明、山下忠治、大日方真の3名が参加し善戦しました。第5回大会は来年台湾で行われる予定です。(大日方)

お知らせ

ロータリーレート6月1日より\$1=¥116(現行¥122)に変更

国際ロータリー第2750地区 2003～2004年度地区協議会報告

(前号の続き)

第四分科会/社会奉仕部会 次期社会奉仕委員長 立林 英昭

カウンセラー丸山宏氏(銀座RC)より、来年度課題: 1) ロータリーの百周年事業、2) 双子クラブ、3) ロータリー・ファミリー、の説明に続き、プロップ・ステーション理事長の竹中ナミ氏による「Challengedを納税者にできる日本」という基調講演。Challenged(チャレンジド)というのは「障害をもつ人」を意味するが、障害をマイナスとのみ捉えるのではなく、障害を持つゆえに体験する様々な事象を自分自身のため、あるいは社会のため前向きに生かして行こうという想いを込め、プロップが提唱する呼称である。

超高齢化といわれる時代を迎え、高度なケアが必要な人達の人口比率が高まる中、働く意欲を持つ人が「チャレンジド」であれ、女性であれ、高齢者であれ「就労の機会を得て、社会参画や納税という形で「支える側」に回ることの出来る社会システム。その構築がこれからの日本に必要なではないか。特に、チャレンジドの就労における様々な障壁を取り除く知恵や努力は、多くの人達にとって「自己実現可能な未来」への道を切り拓くのではないか。

プロップでは、「コンピュータネットワークを活用した在宅ワーク」を含む広範囲な就労の場の創出に向け、産・官・政・学・民・メディアの全ての分野の人達と連携しながら目標に向かって進んでいる。

生まれつきであれ、事故や病気や加齢が原因であれ、全ての人は「障害をもつこと」に無関係で生きては行けない。必要な時に適切なケアが、意欲のある時に就労の機会が得られる柔軟な社会システムを生み出すことが、今私達に突きつけられた課題である。

続くグループ討論では、社会奉仕活動が今転換期にきていることが一致した認識。地域に密着せず、クラブ単位で活動しているだけで、地域の理解を得ていない。お金を出すだけでは空しい、等の意見が出た。

今後の課題として、井戸をほる人を育てる人の教育が大事。「1年を思うものは花を、十年を思うものは木を、百年を思うものは人を育てよ」という言葉が印象に残った。又他クラブの活動を知るための情報網の整備が必要。

最後にリーダーの浅田豊久氏(西RC)からロータリー・クラブ百周年社会奉仕プロジェクトについての説明と小関氏(立川こぶしRC)より「広域避難場所誘導看板設置事業」についての事例紹介があった。

第五分科会/国際奉仕部会 次期国際奉仕委員長 土屋 東一

国際奉仕部会は、①ロータリーの国際奉仕について、②世界社会奉仕について、③国際親善活動について、④バギオ基金について、⑤日韓親善活動について、⑥PBG委員会の新設について、の六項目のテーマのもとで行われた。

2005年に国際ロータリーは100年間に渡る奉仕を祝うが、その中で「双子クラブ」活動についての説明があり、双子関係を既に築いているクラブはロータリー100周年の活動として登録し、100周年を記念して新たな合同プロジェクトを実施して欲しいとの話があった。

次に、バギオ基金の創立以来の足跡の説明として、同基金は1972年シスター海野が奨学資金制度を設立し、これに東京城西RCが参加し周囲のRCに広がり、1981年にバギオ基金として設立されたこと、その目的はフィリピン系の日系および一般青少年に育英資金を提供し、日比親善友好を推進することにあること、本年2月「バギオの虹」が刊行されたので、これを参考にするなどして同基金への理解を深められたいとのことであった。

日韓親善活動部会は韓国の3650地区と当2750地区が姉妹クラブの関係にあることが契機になって生まれたもので、日韓青少年短期交歓親善プログラムの運営等を行っている。本年9月25、26日東京において第7回ロータリー日韓親善会議が予定されているが、9年間途絶の経緯を経て開催されるもの故、多数会員の参加を期待するというものであった。

最後にPBG委員会は当地区内のパシフィック・ベイソン・グループとの連携を密にする目的で次年度新設するものであり、積極的な協力を得たいとしていた。

第七分科会/ロータリー財団部会 次期地区ロータリー財団委員 馬場 一廣

ロータリー財団GSE委員長永長隆徳氏(東京山の手RC)の司会・進行により、先ず次期ロータリー財団委員長川尻正輝氏(東京世田谷RC)の挨拶でスタートした。

ロータリー財団委員会としてはR財団をよく知ってもらう機会にしようとの3ビデオを放映した。

- ①「R財団・ロータリーの国際的ビジョン」
- ②「平和と紛争解決の分野における国際研究の為にRセンター」
- ③「ポリオプラス・最後の子供に達するまでの願い」

このビデオに対応して、川尻委員長が「ロータリー財団の改革について」、次期ロータリー財団カウンセラー岩井敏氏(東京京浜RC)が「ロータリーセンタープログラムならびにポリオプラス・プログラム運動の推進」と「特定非営利活動法人ロータリー日本財団」についてそれぞれ講演があった。

その後川尻委員長より「寄附増進のお願い」の中で「財団プロジェクトと資金調達は車の両輪であって、R財団委員会は金集めをするのではない。クラブレベルで①財団は誰のためのプログラムか②今なぜ財団なのか③財団が評価される点と評価されない点とをまとめてほしい、そしてクラブの独自性で寄附を確定してほしい」と話され、質疑応答の後、閉会した。本会議分科会ではリポーターを担当したロータリー財団副委員長の福井衛氏(東京武蔵府中RC)からまとめの報告がなされた。

上記分科会の他に、第六分科会/新世代部会、第八分科会/米山奨学部会が開催されました。(了)

東京新南ロータリークラブ (<http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth>)

【会長】吉田用親 【副会長】小杉修造 【幹事】吉岡琢磨 【会報委員長】園谷正和 【今週の担当】早川清隆
事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111